

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

<b>達成度（評価）</b> A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である
--

学校名	多久市立東原庫舎中央校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	・確かな学力定着のため、教職員の授業力は確実に上がってきている。児童生徒の学力向上に向け、教師の更なる授業力向上を目指す必要がある。 ・義務教育学校の強みを生かした学校行事の在り方や、豊かな心を育むための児童生徒の交流活動を推進していく。
------------------	--

2 学校教育目標	夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成ー共に伸びゆく中央校をつくろうー
----------	--------------------------------------

3 本年度の重点目標	①教師の授業力を向上させることによって、児童生徒の学力向上を図る。
------------	-----------------------------------

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員がマイプランを共有するとともに、校内研修等により、PDCAサイクルを意識した取組の促進を図る。							
	○教師の授業力の向上	○1単位時間を完結させる授業を実践していると回答した教師90%以上。	・主体的な学びを促す「めあて」の設定、それに呼応した「まとめ」、思考の射程を広げる「ふりかえり」を確実に行う。 ・「生徒指導の3機能」を意識した授業づくりを行う。							・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自分の学級を居心地がよいと感じ、他者を思いやる児童生徒90%以上。	・児童生徒に活動の場を与え、プラスの評価を行い、褒めることで、自己肯定感を高めさせていく。							・道徳主任 ・人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ見逃しゼロ。 ○アンケートがいじめ発見につながったと回答した教員80%以上。	・中央っ子・生活アンケートを毎月行い、いじめ見逃しゼロ及び早期発見、早期対応、解消に組織的に対応する。							・生徒指導主任 ・各学年主任
	○夢に向かうために「志」を持ち、夢の実現に向かって自ら進んで努力する児童生徒の育成	○夢を持ち、夢の実現に向け、「具体的な目標を決めて努力している」と答える児童生徒85%以上。	・日々の教育活動に目的意識を持たせ、学ぶ大切さ、楽しさを伝えていく。 ・児童会・生徒会による活動及び児童生徒の交流活動を充実させる。 ・縦割り活動を計画的に位置付け、実践する。							・教務主任 ・各学年主任
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○「早寝・早起き・朝ごはん」が身に付いている児童生徒90%以上。 ○挨拶、返事、履物そろえがいつでもできる児童生徒90%以上。	・基本的生活習慣確立のため、家庭との連携強化を図る。 ・食育たよりを発行する。							・保健主事 ・生徒指導主任
	○健やかな体の育成	○体力向上に意欲的に取り組む児童90%以上。 ○運動部活動に意欲的に取り組む生徒90%以上。	・中央オリンピックやスポーツチャレンジによって、児童の運動意欲を高める。 ・外部人材(部活動指導員等)を活用した運動部活動を推進する。							・体育主任 ・部活動担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定し確実に実行する。 ・部活動休養日を設定し実行する。 ・学校閉庁日を設定し実行する。 ・電話対応時間帯を設定し実行する。							・管理職
	○自分磨きのための時間確保	○仕事と趣味等を両立させている職員80%以上。	・健康づくり情報誌スマイルのセルフケア編の周知活用及びラインケア編を活用促進する。							・管理職 ・保健主事
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教師の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上した教師80%以上。	・特別支援教育ガイドラインを作成し活用する。 ・リレーションシートを効果的に活用する。							
○家庭・地域との連携	○義務教育学校・コミュニティスクールとして児童生徒の人間の自立を実現	○学校・家庭・地域が三位一体となって児童生徒を育てていると感じる教職員・保護者80%以上。	・コミュニティスクール推進のため、学校運営協議会を開催し、学校応援団活用促進を図る。 ・地域の関係団体と連絡を密にし、連携を強化する。							・主幹教諭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------